

Economic Indicators

発表日: 2024年9月27日(金)

主要経済指標予定(2024年9月30日~10月4日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(9月30日~10月4日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
9月30日 (月)	8:30 7月サービス産業動向調査 売上高(前年比)	—	—	—	+2.2%
	8:50 8月鉱工業指数・速報 生産(前月比)	▲0.6%	▲1.0%	▲2.9%~+0.7%	+3.1%
	8:50 8月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比)	+2.2%	—	—	+2.7%
	14:00 8月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比) (季調値年率)	▲3.9% 77.7万戸	▲3.6% —	▲5.0%~+2.1% —	▲0.2% 77.3万戸
	10月1日 (火)	8:30 8月労働力調査 完全失業率	2.6%	2.6%	2.6%~2.7%
	8:30 8月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.24倍	1.24倍	1.23倍~1.24倍	1.24倍
	8:50 9月日銀短観 業況判断DI・大企業製造業(最近) (先行き)	+14 +14	+13 +12	+10~+15 +8~+17	+13 +14
	大企業非製造業(最近) (先行き)	+35 +32	+32 +30	+29~+34 +26~+35	+33 +27
	14:00 9月新車販売台数 乗用車(前年比) 軽乗用車(前年比)	— —	— —	— —	▲1.6% ▲6.3%
10月2日 (水)	8:50 9月マネタリーベース (前年比)	—	—	—	+0.6%
	8:50 9月短観業種別計数及び調査全容				
	14:00 9月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯、季調値)	—	—	—	36.7
10月3日 (木)					
10月4日 (金)					

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



日銀短観9月調査 業況判断DI・大企業製造業（最近） 当社予想：+14

10月1日に発表される日銀短観は、9月の大企業・製造業の業況判断DIが前环比+1ポイントの改善になると予想する。この間に進んだ円高の影響が注目される。円高効果は、プラスにもマイナスにも働くので、見極めづらい。もしも、7月31日の追加利上げが予想外のショックを企業マインドに与えているとすれば、次の追加利上げはもっと慎重に行われるだろう。

（首席エコノミスト：熊野 英生）

8月鉱工業生産指数 当社予想：前月比▲0.6%

8月の鉱工業生産を前月比▲0.6%と、2か月ぶりのマイナスを予想する。世界的な半導体需要の回復を背景に電子部品・デバイスや生産用機械では堅調な推移が続くものの、不正認証問題の長期化や海外需要の減速による下押しで輸送用機器の停滞感が強く、鉱工業生産は一進一退の状況が続くだろう。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

8月小売業販売額 当社予想：前年比+2.2%

小売業販売額は前月比で小幅増を予想。自動車販売がやや減少する一方、南海トラフ地震への警戒から食料品の買いだめの動きが生じたことが押し上げ要因になった可能性がある。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

8月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.6%／1.24倍

企業の人手不足感は非常に強い状況が続いており、労働需給は引き締まっている。失業率は低水準での推移が続く見込み。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

